

とにかく目に余るんでないかい？



N 1 5

2010. 2. 12

J R 東海 労 東 二 運 分 会

一体 何秒前？後？

みなさん 聞きました？ 名輸所での話 ですが

伝え聞くとところによると、到着点呼に「1分」遅れたと、時系列等報告書を書かされた東二輸のクルーがいます。これはほぼ言いがかりに等しい「点呼遅延」と言えそうです。

クルーは、名古屋到着後に遺失物の届けをすませ途中、急ぎつつも交通事故＝労災発生防止に気をつけながら名輸所に到着しました。しかし待っていたのは「ご苦労さまでした」ではなく「到着点呼、1分遅延！」の一言でした。目が点になって固まったのは責任ある列車長だけではなく、3人ともそうです。

クルーは「遅れてはいません」と統一見解を示し 訴えたものの受け入れられることなく当然と言えば当然ながら、時系列等報告書の作成へと駆り立てられたそうです。ザンネン

車掌のみなさん かなり 経験していませんか？

たとえば、三島着発線到着後の折り返しのイライラ、列車が同じホームに連続して到着した時の後続列車のドア閉扉合図遅れでの到着点呼時間、ちょっと前なら静岡の朝の出場点呼時間、そして遺失物発生時の大一輸と名輸所の到着点呼時間等々、数えれば十指に足りないかもしれません。

しかし 名輸所はすごいところですよ みなさん

現在は、掲示「こんなことがありました」で、車内業務の様子をここまでもか、と監察したメール報告はあまりにも有名か。そして出勤前の科長の私服添乗も。過去には、東海労組合員Bさんが名輸所の責任者から「私だけ改札してもらっていない。東京に報告しておきます」と言われ、別のある人は、報告者は不明ですが「名輸所前の横断歩道を渡らなかつた」と報告され…、等々これも数えれば十指に足りないくらい有りますが、所長以下、管理者一丸となって社員管理を徹底している大変立派な職場です。

ここまで来れば 目に余る というよりも、とにかく あっぱれとしか表現できません。…なんて、のん気なことを言ってもらえません。皆で言いましょ。コラッ！ いい加減にしろ！

「遠い田の 稲穂枯れんか 気にかかり」 C D 頑 爺